

DX 企業講話 株式会社三葉製作所 様



講師

株式会社三葉製作所 技術部第二課長 石合 様

講話内容

- ・ 地域企業の DX の取り組み
- ・ 会社紹介、製品開発内容、押出成形技術について（ホース等作成の流れ） など

学生のワークシートから抜粋

【企業についてわかったこと・気づいたこと等】

- ・ ネットワークケーブル、自動車部品など、ケーブルの被覆を作っている会社。
- ・ 押出成形を行いホース、電線などを作っている。胃カメラや車の部品も。
- ・ プログラムの作成等もしている。
- ・ 完全受注生産
- ・ PLC 制御のため各メーカー専用ソフトでプログラムを作成している。
- ・ DX は企業の実態、環境を理解したうえで戦力構築することが大切。
- ・ 監視カメラを使って、作られた製品の品質を点検している。

【感想】

- ・ 身の回りで使われているホースの構造なんかを意識して見てみたいと思った。
- ・ 各メーカーに向けてそれぞれ違ったプログラムや製品を作ることがすごいと感じた。
- ・ DX はただ導入して終わり、ではなく、働いている環境によって何処にどのように導入するかを理解しなければ上手く使えないと知れました。
- ・ 今、色々なものを DX 化していて品質、生産、労働環境をより良くしていることがすごいと思いました。

- ・車のホースや家庭用の水やりホースまで、様々な場面で使えるような製品を作れる技術力、企業力がすごいと思った。
- ・電線やケーブルなどが、化学繊維などで織ってつくられていて、家電などさまざまなところに使われていてすごいなあと思いました。
- ・ただ被覆するといっても一部は硬くしたり、やわらかくしたりといろいろできるんだなと思った。
- ・ホースを作るのにさまざまな機械があり、その機械からていねいに作られている事が分かった。